

コニカミノルタの中国3拠点が「ゼロエミッションレベル2」*を達成

2009年4月30日

コニカミノルタグループでは、このたび中国における3拠場で、「ゼロエミッションレベル2」を達成いたしました。レベル2の条件は、レベル1の3つの条件を維持しつつ、リサイクルの有無を問わず、生産工程から製品以外に排出されるもの全てについて、売上高原単位で2001年度比30%以上を削減するという厳しいものです。

コニカミノルタのゼロエミッション活動は、経済性とリスク管理の観点も盛り込んでいることを特長としています。国内については、2007年度中に全生産拠場でレベル2を達成しております。海外については、このたび、コニカミノルタ商用科技(無錫)有限公司、コニカミノルタ商用科技(東莞)有限公司、コニカミノルタ光学儀器(上海)有限公司の3社がレベル2を達成しました。2009年度中には海外の全生産拠場でレベル2を達成する予定です。

コニカミノルタ商用科技(無錫)有限公司は、デジタル複合機など情報機器製品の生産拠点です。レベル2達成にあたっては、調達部品納品ダンボールの通い箱化の推進、プラスチック端材を活用したゴミ箱作りなどにより外部排出量を38%削減しました。ゴミ箱は社会貢献活動として、無錫市などへも寄付しています。

コニカミノルタ商用科技(東莞)有限公司はデジタル複合機やレーザープリンターなどの情報機器製品の生産拠点です。無錫と同様に、ここでも調達部品納品ダンボールの通い箱化により廃段ボールの発生を抑制しました。また、プラスチック端材は部品成形に有効活用することにより外部排出量を33%削減しました。

コニカミノルタ光学儀器(上海)有限公司は、携帯電話用マイクロレンズユニット、光学レンズユニットなどの生産拠点です。ここで排出されるプラスチック端材はレンズ蒸着用トレイとして加工、また、洗浄工程においては、洗浄方法を見直し、洗浄液を有効利用することにより、外部排出物の発生を40%抑制しました。

コニカミノルタでは、地球温暖化防止を最大の機軸として、2050年に向けた超長期視野に立った環境ビジョン「エコビジョン2050」を策定し、製品ライフサイクルにおけるCO₂排出量を2050年までに2005年度比で80%削減を目指します。この達成に向けて、2015年度を第1次目標とした「中期環境計画2015」を作成しました。循環型社会への対応としては、ゼロエミッション活動を更に進化させて、外部排出物を2015年度までに2005年度比売上高原単位で50%削減を目標としました。

グローバルに事業を展開するメーカーとしてコニカミノルタでは、今後もグループをあげて従業員一人ひとりが環境負荷の低減に取り組み、環境トップランナーを目指してまいります。

* コニカミノルタにおけるゼロエミッション活動には、レベル1とレベル2があり、レベル1は、「再資源化率90%以上」、「再資源化後の残渣も含め最終処分率5%以下」、さらに「外部支払処理費用90%以上削減、もしくは外部に支払った費用よりも再資源化などによる利益が大きいこと」としています。レベル2では、「2001年度を基準として売上高あたりの外部排出物量30%以上削減」を目標としています。ゼロエミッションの達成基準は、この目標値を3ヶ月以上継続させるとともに、環境専門部門が目標達成状況を監査した上で、環境担当役員が現地での取り組み状況を確認し、達成の可否判断を行なっています。

本件に関するお問い合わせ先
コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ 小木曾
TEL: 03-6250-2100